

# 広報 なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



## 議会の活動

令和3年(2021年)12月 第178号

### 9月定例会特集号

9月定例会は、9月10日から10月12日までの33日間にわたって開かれ、新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算や、条例案、令和2年度決算認定案など市長提出案件26件、議員提出議案4件についての審議などを行いました。

名古屋市会 Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

### 9月定例会の日程(概要)

開会	9/10 本会議	9/15~17 本会議	9/21~28 常任委員会	9/29 本会議	10/1~8 常任委員会	10/12 本会議	閉会
	議員提出議案(決議)について提案説明、議決など(→詳細は、1~4面) 市長提出案件について提案説明	個人質問(→詳細は、2・3面)	市長提出案件について審査	個人質疑(→詳細は、2・3面) 市長提出案件などについて議決(→詳細は、1・4面) 決算認定案について提案説明	決算認定案などについて審査	決算認定案などについて議決(→詳細は、1・4面)	

## 新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算を可決

●新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算2件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

### 新型コロナウイルス感染症への対応

中小企業新型コロナウイルスワクチン接種促進事業…20億8,200万円  
経済活動の維持・回復のため、従業員等のワクチン接種を推進する市内中小企業者に対し、給付金を支給

PCR検査費等の公費負担…15億8,400万円  
検査件数の増加による増額

新型コロナウイルス感染症自宅療養者等配食サービス事業…12億1,900万円  
利用者数の増加による増額

新型コロナウイルス感染症医療費の公費負担…8億300万円  
患者数の増加による増額

トワイライトスクール等の情報通信ネットワーク環境整備等…2億3,690万円  
児童活動の充実等を図るためのトワイライトスクール等の無線LAN環境の整備及び留守家庭児童健全育成事業における無線LAN環境の整備等助成

積極的疫学調査・健康観察体制の強化…1億9,900万円  
感染者数の増加に対応するため、保健センターにおける新型コロナウイルス感染症の疫学調査及び自宅療養者等の健康観察体制の強化に必要な看護師等を人材派遣により増員

介護施設等のゾーニング環境等整備補助…1億457万円  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策として行う、介護施設等におけるゾーニング環境等の整備費に対する補助

新型コロナウイルス感染症対策救急活動用資器材等の購入…3,702万円  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、救急車内及び消防署所等にオゾン発生器を設置

#### その他

- 介護施設等の非常用発電機等整備補助…2億7,355万円
- 留守家庭児童健全育成事業育成支援体制強化助成…8,747万円
- 新たな障害者スポーツセンター整備検討調査…700万円

## 市長の給料の特例に関する条例の制定について賛成少数で否決

●東京2020オリンピック競技大会の優勝報告における市長の不適切な言動に対する責任を明らかにするため、市長の給料を減額するものです。

### 否決に至るまでの経緯

○本会議で個人質問が行われた後、総務環境委員会において参考人の出席を求め意見を聴取するなど慎重に審査を進めたところ、各会派より以下の理由により反対であるとの意見表明がなされました。

- 自民** 河村市長自ら、「給料3カ月の返上は今回の金メダル事件の責任の取り方の一部であって全体ではない」と発言しており、今後の市政への影響も見通せない中、「自省、猛省、自戒」、「社会にとって良いことをする」と繰り返し述べるのみであり、行政の長としての責任と政治的な責任とが曖昧で、提案理由にある市長の責任が全体として不明確なまま、給料の減額といった一部の基準のみで判断を求められても、賛同できる状況に至らない 等
- 民主** 市長給料3カ月全額の減額を行うことは、今後、同様の不祥事が生じた場合の参考例として、他の自治体に対して非常に大きな影響を及ぼす懸念があることが参考人の意見で明らかとなり、一方で、市長からの本案は責任の取り方の一部との説明では、金メダル事件全体の責任の取り方が極めて不明確であり、そのような状況では到底賛成することができない 等
- 公明** 専門的な知識、識見を有する参考人の意見・質疑を通じて、今回の金メダル事件の全体の責任の取り方が曖昧なまま給料3カ月の返上により措置することが、今後の同種の事案についての先行事例となり、他自治体等に影響を与えかねない極めて大きな意味を持つ議案であることが明らかとなり、現時点において議会が判断できる状態ではない 等
- 共産** 河村市長による金メダル事件は、名古屋市の代表である立場をわきまえない常軌を逸した行為であり、その後の市長の思慮に欠けた対応にも市民の不信が広がり、今後の市政への影響も見通せない事態を招いている。河村市長には、こうした責任のすべてが問われているが、「自省、猛省、自戒」と繰り返し述べており、しかもそれは口先だけで、真摯に反省しているとは認められず、給料の減額で責任を取ったことにはならない 等

○10月12日の本会議において、採決を行った結果、賛成少数により否決しました。

## 佐藤ゆうこ理事(減税)に対する問責決議案を賛成多数で可決

●佐藤ゆうこ議会運営委員会理事が円滑な議会運営を著しく損なう不適切な行為等を行ったとして、その責任を問うものです。

### 佐藤ゆうこ理事に対する問責決議(概要)

議会運営委員会理事の不信任動議可決後も、理事の職にとどまり続けている佐藤ゆうこ議員は、伊勢湾台風をめぐる不適切な発言により減税を離脱した前田えみ子議員に、主体的に復団を呼びかけただけでなく、議会運営委員会において他の同会派所属委員が復団の前に被災学区へ謝罪に赴くべきだったと発言する中で、復団と謝罪の順番は時としてどちらが正しいというのではないときもある旨の発言などを行い、被災者の心情を再び傷つけるとともに、名古屋市会の名誉を著しく毀損した。また、佐藤ゆうこ議員は、議会運営委員会で行われた委員外議員の発言について、同理事会で確認したとおりの議事運営を行った委員長を糾弾したが、これは円滑な議会運営を著しく損なう不適切な行為であり、断じて許されるものではない。このまま佐藤ゆうこ議員が議会運営に係る協議に参加し続けられれば、名古屋市会の混乱が続くのは必至と考えられるため、猛省を促すとともに、その責任を強く問うものです。

※決議の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

▶本件については、採決に先立ち、佐藤ゆうこ議員から一身上の弁明、減税から反対討論、自民・民主・公明・共産から賛成討論が行われました。

**一身上の弁明** 議会運営委員会での委員外議員の発言について、理事会では最後まで「発言は議会運営に係ることだけ」と主張しており、委員長への糾弾は議会運営に関係ない発言についての指摘であり、決議案は真実と異なる。

**反対討論** 減税議員と他会派の議論が平行線になった後、減税議員への動議や決議がこの1年半で5回も出ているが、こういう手法は議会の民主的運営に禍根を残す。本案は少数会派の意見を尊重しない不当なものである。

**賛成討論** 前田議員が被災学区に直接謝罪していないことを知りながら、佐藤議員は伊勢湾台風襲来の日の目前に復団を呼びかけ、被災者の心情を再び傷つけた。同議員が理事の重責の任にないことは明らかである。



# 9月定例会 提出案件の賛否

## 市長提出案件

■以下の18件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(決算認定案については認定または可決及び認定、人事案件については同意)しました。

- 《条例案》●個人情報保護条例の一部改正
- 《補正予算》●令和3年度名古屋市一般会計補正予算(第7号)など2件(→詳細は1面)
- 《一般案件》●市道路線の認定及び廃止
- 《決算認定案》●令和2年度名古屋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定など12件
- 《人事案件》●農業委員会の委員選任 ●愛知県公安委員会の委員推せん



## 議員提出議案

■以下の3件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

### 意見書

- 少人数学級の推進、計画的な教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書  
中学校の学級編制の標準を早期に全学年35人にするるとともに、さらに義務教育における少人数学級を推進し、30人学級を実現することなどを強く要望するものです。
- 出産育児一時金の増額を求める意見書  
出産育児一時金を現在の出産費用に見合う額に引き上げるよう強く要望するものです。
- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書  
令和4年度以降3年間の地方一般財源総額について、社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せが及ばないよう、十分な総額を確保することなどを強く要望するものです。

## 令和2年度決算認定案について「認定」または「原案どおり可決及び認定」

■「令和2年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案19件については、全会一致または賛成多数により、いずれも「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

### 一般会計の決算状況

- 歳入決算額は1兆5,208億円余、歳出決算額は1兆5,037億円余でした。
- 前年度に比べ、歳入は2,856億円余増加し、歳出は2,804億円余増加しました。
- 翌年度繰越財源88億円余を差し引いた実質収支は83億円余の黒字でした。

▶「令和2年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、共産から反対討論(理由:コロナ対策を進めるうえで市長の姿勢に問題があったこと。コロナで苦しんでいる市民に負担を強いたこと。見直すべき大型事業や金持ち減税を漫然と続けたこと。)が行われました。

■各会計決算認定案19件について、常任委員会で審査された項目の一部をご紹介します。

総務環境委員会	○議会からの特別秘書への指摘内容及びその対応 ○再犯防止推進モデル事業の支援実績及び効果
財政福祉委員会	○督促状の作成件数や様式 ○なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業の加入者数
教育子ども委員会	○ライフキャリアサポートモデル事業の取組実績 ○いじめ対策に係る検討状況
土木交通委員会	○市道弥富相生山線の現地保全に係る経費を含めた総事業費及び検討状況 ○停留所の広告付き上屋の設置状況
経済水道委員会	○先進技術社会実証支援等事業における企業からの提案状況 ○名古屋城天守閣木造復元事業の進捗状況及び名古屋城周辺の景観整備に係る当局の認識
都市消防委員会	○防災危機管理局の組織体制 ○地下街耐震改修の実施状況

🗨️ 委員会の議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)から録画中継を視聴できます。

## 常任委員会の正副委員長が交代しました

9月定例会では、減税所属の、中川あつし財政福祉副委員長、余語さやか教育子ども副委員長、鹿島としあき経済水道委員長に対し、それぞれの委員会で不信任動議が提出され、採決を行った結果、賛成多数によりいずれも可決されました。これを受け、次の通り常任委員会の正副委員長が交代しました。

委員会	新	旧
財政福祉委員会	手塚将之副委員長(未来)	中川あつし副委員長(減税)
教育子ども委員会	木下優副委員長(公明)	余語さやか副委員長(減税)
経済水道委員会	渡辺義郎委員長(自民) 三輪芳裕副委員長(公明)	鹿島としあき委員長(減税) 浅井正仁副委員長(自民)

※名古屋市会では、平成23年度から、市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしていますが、残念ながら、河村市長から「回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある」として、毎月発行化は認められていません。よって、今年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

■以下9件について、賛否と結果は下記の表のとおりです。

- ①…佐藤ゆうこ理事に対する問責決議案
- ②…市長の給料の特例に関する条例の制定
- ③…令和2年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定など決算認定案7件

会派	氏名(区)	議決結果			
		①	②	③	
自民	伊神邦彦議員(千種区)	○	×	○	
	中川貴元議員(東区)	○	×	○	
	渡辺義郎議員(北区)	○	×	○	
	浅野有議員(西区)	○	×	○	
	斎藤たかお議員(中村区)	○	×	○	
	小出昭司議員(中村区)	○	×	○	
	中田ちづこ議員(中区)	○	×	○	
	西川ひさし議員(昭和区)	○	×	○	
	ふじた和秀議員(瑞穂区)	○	×	○	
	服部しんのすけ議員(熱田区)	○	×	○	
	岡本善博議員(中川区)	○	×	○	
	浅井正仁議員(中川区)	○	×	○	
	吉田茂議員(港区)	○	×	○	
	藤沢ただまさ議員(南区)	○	×	○	
	鈴木和夫議員(南区)	○	×	○	
	松井よしのり議員(守山区)	○	×	○	
	北野よしはる議員(守山区)	○	×	○	
	中里高之議員(緑区)	○	×	○	
岩本たかひろ議員(緑区)	○	×	○		
丹羽ひろし議員(名東区)	○	×	○		
成田たかゆき議員(天白区)	○	×	○		
民主	斎藤まこと議員(千種区)	○	×	○	
	山田昌弘議員(千種区)	○	×	○	
	服部将也議員(北区)	議長	議長	議長	
	うえぞの晋介議員(西区)	○	×	○	
	うかい春美議員(中村区)	○	×	○	
	塚本つよし議員(中区)	○	×	○	
	おくむら文悟議員(昭和区)	○	×	○	
	久田邦博議員(瑞穂区)	○	×	○	
	森ともお議員(熱田区)	○	×	○	
	久野美穂議員(中川区)	○	×	○	
	赤松てつじ議員(中川区)	○	×	○	
	加藤一登議員(港区)	○	×	○	
	橋本ひろき議員(南区)	○	×	○	
	小川としゆき議員(守山区)	○	×	○	
	岡本やすひろ議員(緑区)	○	×	○	
	日比美咲議員(名東区)	○	×	○	
	田中里佳議員(天白区)	○	×	○	
	減税	佐藤ゆうこ議員(東区)	※	○	○
田山宏之議員(北区)		×	○	○	
鹿島としあき議員(西区)		×	○	○	
豊田薫議員(中区)		×	○	○	
大村光子議員(昭和区)		×	○	○	
前田えみ子議員(瑞穂区)		×	○	○	
中川あつし議員(中川区)		×	○	○	
沢田ひとみ議員(港区)		×	○	○	
河本ゆうこ議員(守山区)		×	○	○	
余語さやか議員(緑区)		×	○	○	
浅井康正議員(名東区)		×	○	○	
鈴木孝之議員(天白区)		×	○	○	
公明		田辺雄一議員(千種区)	○	×	○
		長谷川由美子議員(北区)	○	×	○
		さわだ晃一議員(西区)	○	×	○
		中村満議員(中村区)	○	×	○
		木下優議員(中川区)	○	×	○
		吉岡正修議員(港区)	○	×	○
	さかい大輔議員(南区)	○	×	○	
	金庭宜雄議員(守山区)	○	×	○	
	近藤和博議員(緑区)	○	×	○	
	小林祥子議員(名東区)	○	×	○	
	三輪芳裕議員(天白区)	○	×	○	
	共産	岡田ゆき子議員(北区)	欠	×	×
		江上博之議員(中川区)	○	×	×
		さはしあこ議員(緑区)	○	×	×
		さいとう愛子議員(名東区)	○	×	×
		田口一登議員(天白区)	○	×	×
	未来	手塚将之議員(千種区)	○	×	○
	増田成美議員(緑区)	○	×	○	

○…賛成 ×…反対 欠…欠席  
議長…議長のため議決に参加できない  
※…自己の一人に関する事件のため議決に参加できない

- 8月18日に「減税」から手塚将之議員の離任届が提出され、同日、同議員は「未来」に加入しました。
- 8月20日に「無会」から解散届が提出され、同日、前田えみ子議員は「減税」に加入しました。
- 10月19日に中川貴元議員は衆議院議員選挙への立候補に伴い、市会議員を退職しました。